



MAISON ONIGIRI [dress code] black



MAISON ONIGIRI [dress code] pink

■ YELLOWKORNER HIBIYA

住 所：東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷3F  
TEL : 03-6273-3403 営業時間：11:00～21:00  
定休日：施設の営業日による

■ YELLOWKORNER ROPPONGI(期間限定店)

住 所：東京都港区赤坂9-7-2 東京ミッドタウン プラザB1階  
TEL : 03-5843-1765 営業時間：11:00～21:00  
定休日：施設の営業日による

THE GALLERY OF A NEW GENERATION  
OF COLLECTORS



© Jardin Oublie II - Bernhard Hartmann

**YELLOWKORNER**  
PHOTOGRAPHY · LIMITED EDITION

# WHAT is YELLOWKORNER?

アートフォトを身近にしたフランスで話題のイエローコーナーとは？  
100ユーロ以下でアートフォトが買える、というコンセプトで人気の  
イエローコーナー。その創始者であるCEOに聞いた。

(L'OFFICIEL Japan 2016年4月号より抜粋)



イエローコーナー創始者・CEO  
ビジネススクールで出会ったボル・アント  
ワヌ・ブリア（左）とアレキサンドル・ド・  
メッツ（右）はかねてからの目標だったアーテ  
トをもっと身近にするための企業として、  
2006年イエローコーナーをフランスで創業。

YellowKornerは10年前に、「本やCDを購入するよ  
うに写真も気軽に購入したい」と考え起業しました。  
当時、さまざまなフェアや美術館で写真にフォーカス  
した企画が催されていましたが、学生で貧乏だった僕  
らにはそれらの作品を購入することができなかった。  
そこで、僕らでも写真を購入できるシステムを作ろう  
と思ったのです。シンプルに自分達の写真に対するパ  
ッションをみんなにシェアしたかったんです。

アートが一部ラグジュアリーと呼ばれるような時代  
になりましたが、アートは私にとってはラグジュアリー  
ではありません。例えばアンリ・カルティエ=ブレッソン  
のサイン入りのオリジナルの作品はとても高価です  
が、エディションが存在しない。彼はエディションをつ  
けることで希少性を創出しなかったのです。彼のよう  
に、自身の作品に上限をつけたがらなかった写真家は  
少なくありませんでした。なので、エディションとア  
ートフォトグラファーは分けて考えなければならないと  
思います。ただし、希少性と価格のバランスは確かに存  
在します。YellowKornerで扱う作品は1,000枚程度  
のリミテッドエディションです。つまり、20枚などの少  
数のエディションほどは高価ではない作品であり、起  
業の目的もここにありました。もう一つ、アートがラグ  
ジュアリーではないという理由は、アートはメッセージ  
だからです。100万枚出回るモーツアルトのCDは高価  
ではありませんが、モーツアルトの曲はアートそのもの  
です。映画も同様です。安価な消費が可能ですが、そ

の多くの作品はアートと呼べるようなものです。同様  
に、私たちの販売する作品も「メッセージ」です。私  
たちの扱う写真とギャラリーの扱う写真の違いは唯一、  
エディションの数の違いです。

写真のマーケットは10年ほど前に大きな変革を迎  
えました。かつては今のアップル社よりも成功してい  
たKodak社がつぶれ、銀塗写真の時代が終わったので  
す。すべてではデジタルにとって変わられ、同時にすべて  
の人が写真家になれるようになり、市場の原理も変わ  
りました。写真が容易に売れた80年代と現在は全く  
状況が異なります。さかのぼって、20世紀の初めには、  
アートフォトのマーケット自体がありませんでした。写  
真はアートではなく、アンリ・カルティエ=ブレッソンも  
写真を撮り始めた当初はいわゆる「アーティスト」では  
なかった。その意味でアートフォトは“写真が死んだと  
きに生まれた”といえるでしょう。絵画もしかりです。  
絵画も建築やポートレートなど実用的な用途で重宝さ  
れた時期がありました。絵画が写真の登場によってア  
ートになっていったように、写真もそうなっていくか  
もしれません。

一步下がって状況を眺めてみると、アートフォトの  
概念はとても新しく、パリフォトは15年、フォト・ロン  
ドンやフォト・バーゼルはたったの2年ほどの歴史しか  
ありません。写真の価格も、ここ10年で上がっている  
ものが多ี。つまり、アートフォトは何もかも始まりの  
段階に立っているといえます。銀塗写真が死んで、何

が変わったか。みんな、写真をプリントしなくなった。  
それが一般的なデジタルフォトとの決定的な違いで、  
アートフォトはあくまでもペーパーにプリントしたも  
のを指します。コレクターが写真を購入する理由は主  
に2つあり、まずは素敵なもの、主観的に好きなもの  
をそばに置きたいから。次に、投資の目的です。市場の  
規模も価格も、両方拡張することが見込まれているの  
で、これから先20年ほどはアートフォトの重要性が増  
すといって間違いないでしょう。BRICsなどの、中産階  
級の国民が増加した新興国では、ペインティングは比  
較的売りにくい。なぜでしょうか。難解だからです。  
アートを知るには時間がかかります。しかし、写真は何  
人にも瞬時に訴えかけるパワーがあります。それはメ  
ッセージが直接的で強いからです。写真はつまり、容  
易で同時にモダンな側面を持ち合わせていて、この「モ

ダン」な要素も現代人を惹き付けます。

YellowKornerのカスタマーは、投資目的ではなく、  
ただただそこにある写真を好きと感じて作品を購入し  
ます。ただ我々もパリフォトで購入するような有名なコ  
レクターのカスタマーもいます。彼らもYellowKorner  
では自分が好きな写真を購入します。これらの購入パ  
ターンの違いは、ブレタ・ボルテとオートクチュールの  
違いとも形容できるでしょう。「アートは中国語のよ  
うなもので、学ぶ必要があるのです」というビカソの格  
言がありますが、まさにイメージを捉えるための目線  
を鍛えるのには、時間がかかります。YellowKornerが  
固定概念にとらわれない目線を鍛えるきっかけづくり  
ができれば、嬉しいですね。

(インタビュー:MAYA JUNQUEIRA SHIBOH)



# LIFE With PHOTO

アートフォトのある暮らし、  
はじめてみませんか？

1枚の写真があることで、空間の雰囲気が変わる。  
そんな経験をしたことがあるでしょうか？  
「アートフォトは難しい」「飾り方がわからない」  
そんな人のためにYellowKornerは、フランスで  
スタートしました。本や雑貨のように、  
気軽に楽しめるアートフォトをコンセプトに  
数多くのアートフォトを用意しています。  
外国の街並みや雄大な自然、好きな人物……。  
空間も気分も彩り豊かにする写真がある日常。  
そんな生活を始めてみてはいかがでしょう？



Shan Kun Wu  
Eagle on Top

# ON THE WALL

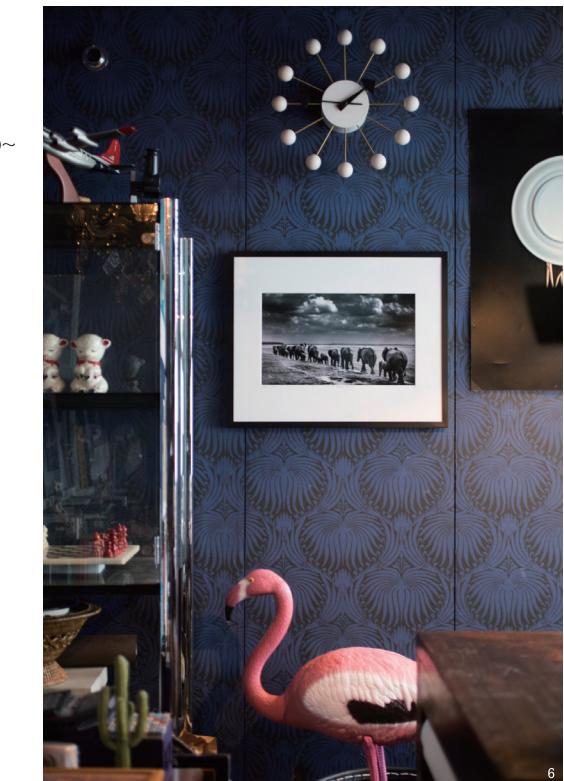
1枚の写真で、部屋の空気が変わる。  
そんな体験をしてみませんか？



- 1 LARGE 60×90cm  
¥77,500～  
2 ART SHOT+フレーム  
40×50cm 合計:¥16,500～  
3 LARGE 60×60cm  
¥73,400～  
4, 5, 6 ART SHOT+  
フレーム 40×50cm  
合計:¥16,500～1枚



1,2,4,5 ©Takaji Onda 3,6 ©Hiromi Asai



4

# IN THE CORNER

椅子やシェルフに飾れば  
自分だけのギャラリースペースに



- 1 ART SHOT+フレーム  
40×50cm 合計:¥16,500~  
2 LARGE 60×60cm  
¥73,400~  
3, 4, 5, 6 ART SHOT+  
フレーム 40×50cm  
合計:¥16,500~1枚



©Hiromi Asai 6 撮影協力 Koef



# WITH KIDS

写真のある空間で過ごす家族の時間



1, 2 ART SHOT+フレーム 40×50cm  
合計:¥16,500~1枚



2

## ON THE FLOOR

床にさりげなく置いてみる。  
それで完成。



ART SHOT+フレーム 40×50cm  
合計:¥16,500~1枚

WITH KIDS, ON THE FLOOR ©Hiromi Asai



1



3



5

4 ©Hiroschi Suganuma 撮影協力 DRAW A LINE sanwacompany  
1, 2, 3 ART SHOT+フレーム 40×50cm 合計:¥16,500~  
5 ©Juniko Kazato



2



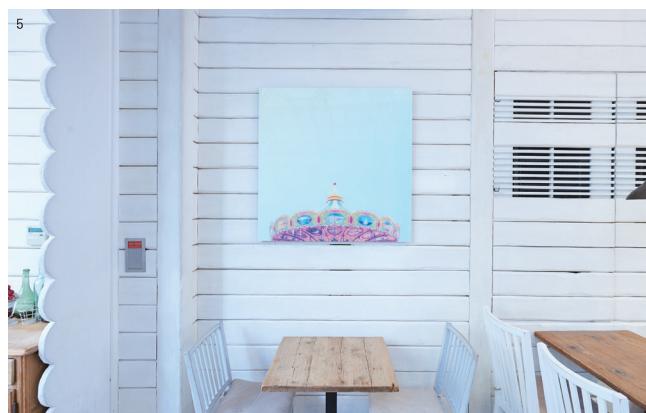
4

# AT YOUR FAVORITE SPACE

好きな場所に好きなように  
ルールなんて関係ない

# AT SHOP or OFFICE

人の記憶に残る空間には写真があります



1, 3, 4 ART SHOT+フレーム  
40×50cm  
合計：¥16,500～1枚  
2 LARGE 60 X 60cm  
¥73,400～1枚  
5 GIANT 100 X 100cm  
¥181,200～

1.3 ©Shinichi Ichikawa 撮影協力 株式会社カムラ・WORK MILLプロジェクト  
2. ©Masashi Kamiya 撮影協力 カリクリ家具有株会社  
4. ©Kosuke Tange 撮影協力 Seafood & Natural Wine umbrella  
5. ©Masashi Ura 撮影協力 シンクレーム洋菓子店

## アートフォトに関するQ&A

### Q.01

どうやって取り付ければいいの？

A. 壁に取りつける場合はクギに取り付けるのが一般的です。壁が石膏ボードの方は、店舗でイエローコーナーを取りつけるための専用のフックも用意しています。このフックは壁に生じる穴を最小限に留めることができます。この出来るので、穴が残りにくいのが特徴です。

### Q.05

アクリルのメンテナンスは？

A. 表面が汚れた場合は、眼鏡拭きのような柔らかい布で拭いてください。その際、水や眼鏡クリーナーなどは使用せず、口で息を拭きかけるなど、湿気で汚れを拭きとるをお薦めします。もしくは、市販のアクリル専用の汚れ拭きとり剤を布に少量づつ含ませ優しく表面を拭いてください。何より普段から素手でアクリル表面をむやみにさわらないように心がけることが大切です。

### Q.02

どんな写真を選べばいいかわからない

A. まずは好きな被写体の作品を探してみてください。人物、街並み、花など多彩な作品の中から好きな被写体のものをお選びいただけます。または、部屋に合わせて選ぶ場合は壁やクッションやカーテンなどの“色”に合わせたり、カラフルな写真作品をあえてアクセントカラーとして選ぶのもおすすめです。

### Q.06

アートフォトって高いのでは？

A. イエローコーナーは、「多くの人々に気軽にアートフォトを生活に取り入れて欲しい」というコンセプトのもと生まれました。エディション数を多くすることにより、アートフォトを手の届く価格で提供しています。中の作品を簡単に取り換えることのできるアートショットサイズの場合、作品は10,000円以下、額とセットでも20,000円以下で購入することができます。

### Q.03

賃貸住宅だから難しい？

A. 前述のイエローコーナー専用のフックをお使いいただければ、壁に大きな穴をあけずに作品を飾ることができます。(使用の際は不動産会社との規約等をご確認ください)

また、床や棚の上に飾っても素敵ですし、本棚の中に飾ってもアクセントになります。アクリルの大きな作品をあえて床置きすると迫力のある空間を演出することもできます。

### Q.07

ポスターとどう違うの？

A. アート写真には、エディション(限定数)がありポスターのように無限に生産できるものではありません。また、イエローコーナーのプリントはシルバーゼラチンプリントという写真特有の技術が使われており何年たっても美しい色合いが表現され続けます。

### Q.04

額装が大変だと聞きますが…

A. 額と組み合わせて楽しんでいただくタイプのアートショットは、作品に白いマットが付属しています。マットをついたまま額に入れられるので簡単に作品を飾ることができます。額装も簡単に中の作品が取り換えられるような仕様になっているので、季節や気分によって作品を変えてお楽しみください。アートショットタイプ以外はアクリル加工なので額装の必要はありません。

### Q.08

まずは小さいサイズを試してみたい。

A. ICON(アイコン)という6,000円以下で購入できる13cm×19.4cmのアクリル作品があります。オフィスのデスクの上や小さな壁に掛けてお楽しみいただけるのでアートフォトの入門としてお薦めです。ギフトにも最適です。

# SPECIAL INTERVIEW MAISON ONIGIRI

この秋、YellowKornerが新たに販売を開始した、MAISON ONIGIRIの作品。クールな「Kawaii」を感じさせるビジュアル表現の深層をインタビュー。

MAISON ONIGIRIの作品は、見た人にとって鮮烈な印象を残します。一瞬、ファッションアイテムやティキスタイルのデザインかと見間違いそうですが、よく見るとエクレアだったりタコの足だったり。どことなくユーモラスでとてもキュートな作品は、どのようにして生まれたのでしょうか。

「フォトグラファーの細見恵里さんは、ずっと食べ物をテーマに作品を撮ってきました。

「食べ物=経験、だと考えています。その食べ物を口に入れた時に、作ってくれた人のことを思ったり、好きな人と一緒に食べたことを思い出したり。そこには必ず物語があって、人が存在しています。『おいしい』以外の気持ちを食べ物の写真で伝えたいと思いました」(細見さん)

「人との掛け算ができるような作品を作りたかった」と二人の共同制作がスタート。細見さんの写真表現にヴィジュアルクリエイターの結城香織さんのセンスとアイデアが加わることで、シュールレアリズムのような世界が出現します。



[FOOD BOUQUET FOR GIRLS DAY]



MAISON ONIGIRI(メゾン オニギリ)：フォトグラファーの細見恵里、ヴィジュアルクリエーターの結城香織の女性2名からなるクリエイティブユニット。食べ物の色や形にインスピレーションを受け、フェミニンでありながらもエッジィな力強さをまとった、独自の「カワイイ」を表現し続ける。

そして、今年の国際ガールズ・デー(2019年10月11日)における、六本木の共通アイコン(P16左下の写真)をMAISON ONIGIRI が作成。国際ガールズ・デーのテーマカラーであるピンクを意識しつつ、さまざまな食べ物の花束で鮮やかに表現しました。

「食べ物は価値観や経験に通じ、甘い時もあれば辛い時もあります。さまざまな境遇にあいながらも、自分らしく強く生きていこうとする、そんな女子と女性たちの象徴として、このモチーフを作りました。いいことも悪いこともいつか自分のエネルギーとなって、花束のように咲き、世界を彩れるようにとの願いを込めています」(結城さん)

新しくオープンするレストランのビジュアル表現を担当したりと、活動の幅を広げているMAISON ONIGIRI。ユニット名に「おにぎり」を冠したのは、それが「愛情」がいちばん伝わる料理だから。そして、ファッションブランドのような存在になりたいという思いから「メゾン」と名付けました。

「環境のため、人のため、そういった大きな視点で役に立ちたい」と語る二人。これからもビジュアルを介して、世界に愛情と生きるエネルギーを届けていきます。



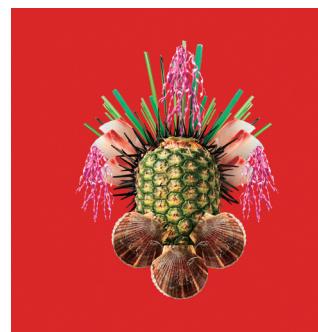
clair



[THE TASTE] aqua



[THE TASTE] vermillion orange



[THE TASTE] red



[THE TASTE] ultramarine



## Case 1 EDUCATIONAL FIELD

教育の現場  
at ポビンズ(PALIS ANNEX)



東京・恵比寿ガーデンプレイス内にある、小学生を対象にしたポビンズの英語の学童「ポビンズアクティブラーニングインターナショナルスクール(PALIS ANNEX)」。子供たちが過ごす空間に、YellowKornerのアート写真が飾られています。

従来の保育に教育をとりいれたエデュケアを先駆けて展開し、STEM教育の進化形として「Art」を取り入れるSTEAM教育にも注力しているポビンズとのプロジェクトで、幼少期から本物のアートに触れ楽しむ機会を増やすことを目的としています。

さらに、カリモクの木製家具ともコラボレート。学童をはじめとした教育施設に適したアート(色、作家、被写体など)を検証したり、そこで過ごす子供たちやスタッフに与える影響・効果についてアンケートを取りながら3社で共同発表をしていきます。



©Shinichi Ichikawa

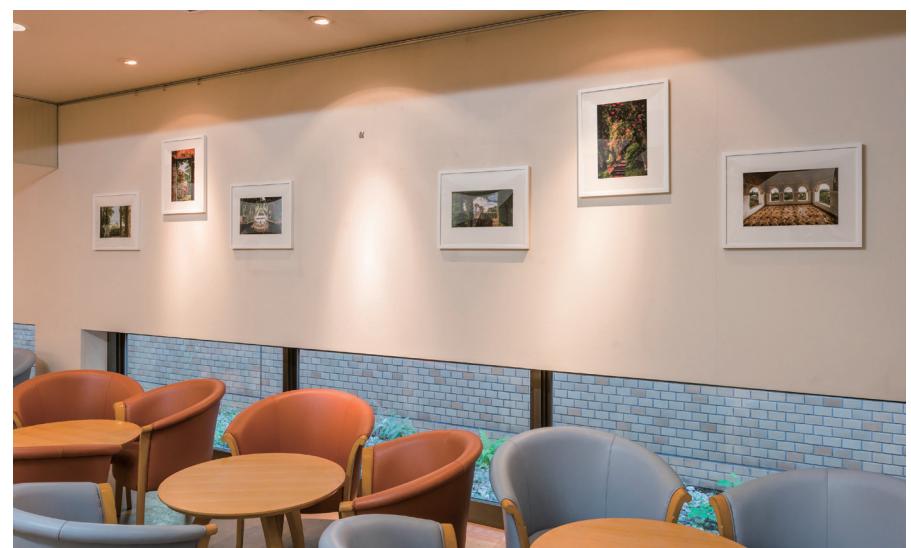
## Case 2 MEDICAL FIELD

医療の現場  
at 手稻渓仁会病院



YellowKornerのアート写真が展示されているギャラリーのような空間。ここは、北海道札幌市にある手稻渓仁会病院です。病院は、その抱えている使命のため、ともすると殺風景になりがち。ですが、その場所にふさわしいアート写真をセレクトすることで、訪れる人に癒しやリラックス感をもたらすことが可能になります。

アート写真の中でも自然を感じさせる「庭園」シリーズや、親子の姿がかわいらしい「シロクマ」のシリーズ、花のアップや森林などを院内のスタッフがピックアップして、歓談スペースや渡り廊下などに展示。今後は作品に関するアンケートを実施して、患者やスタッフにどのような効果が現れるかを集計していきます。



Landscape



# PRINTS & FORMATS

YellowKornerのプリントは品質保証のついたシルバーゼラチンプリント。  
作品は飾るシーンによって7サイズから選ぶことができます。  
サイズごとに世界限定数販売となっている、コレクティブなアイテムです。



## ICON

13 X 19.4cm  
¥5,400(税込)～  
世界限定5,000枚



## ART SHOT

40 X 50cm  
¥9,900(税込)～  
世界限定5,000枚  
1.25kg



## COLORFUL

32 X 48cm  
¥29,600(税込)～  
世界限定999枚  
2.5kg



## LARGE

60 X 90cm - 60 X 60cm  
¥73,400(税込)～  
世界限定500枚  
4.5kg



## GIANT

100 X 150cm - 100 X 100cm  
¥181,200(税込)～  
世界限定200枚  
11kg

## COLLECTOR

120 X 180cm - 120 X 120cm  
¥354,100(税込)～  
世界限定100枚  
16kg

## EXCEPTION

150 X 225cm  
¥753,000(税込)～  
世界限定50枚  
28kg

ART SHOTサイズはフレームと組み合わせて飾るタイプなので、生活シーン、季節の変わり目などに簡単に取り替えてお楽しみいただくことができます。ART SHOTサイズ以外はアクリル加工となっておりますので、フレームなしで直接壁に飾ってお楽しみいただくことができます。

### ■ FRAME



BLACK ALUMINIUM



WHITE WOOD

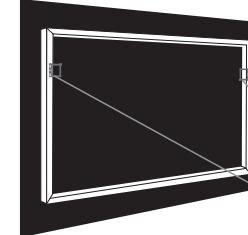


SILVER ALUMINIUM



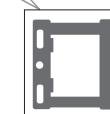
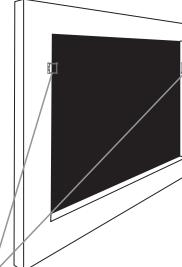
MATT WOOD

### ■ MOUNTING ON ALUMINIUM



ART SHOT以外の商品はアクリル加工となっており、直接壁にお掛けいただくタイプになります。  
※商品によってはフレーム付きのご用意もございますので詳しくはスタッフにお問い合わせください。

### ■ SHADOWBOX MOUNTING



### ■ ACCESSORIES

イエローコーナーの作品を壁に飾るための専用のアクセサリーのご用意もございます。



Jフック

¥550(税込)  
石膏ボードの壁にご利用いただける専用のクギで、壁に開く穴を最小限に留めることができます。ART SHOTからGIANTサイズまでご利用いただけます。



フレームハンガー(M)

¥1,060(税込)  
石膏ボードの壁にご利用いただける専用のクギで、180度開くホッチキスで簡単に壁に留めることができます。ART SHOTからGIANTサイズまでご利用いただけます。

※価格の表示は  
本体のみ消費税込の表示です。